

## 第4章 地域のまちづくり構想

### ■ 地域区分の設定

#### (1) 地域区分の目的

- ・将来都市像や全体構想における基本方針を踏まえ、地域の特性や役割等に対応した地域のまちづくり構想を策定するため、構想の立案の範囲を『地域』として設定します。

#### (2) 地域区分の考え方

- ・地域区分は、次の要素から判断します。

##### [地形や土地利用に関わる要素]

- ：平地部、丘陵地部、河川流域部等のまとまり方
- ：市街地、農地等のまとまり方

##### [都市計画・都市整備等に関わる要素]

- ：用途地域の指定状況、宅地基盤の整備状況等

##### [生活行動範囲による要素]

- ：町丁界、自治会等のコミュニティ単位による区分
- ：小・中学校区による区分
- ：最寄品買物行動圏等による区分

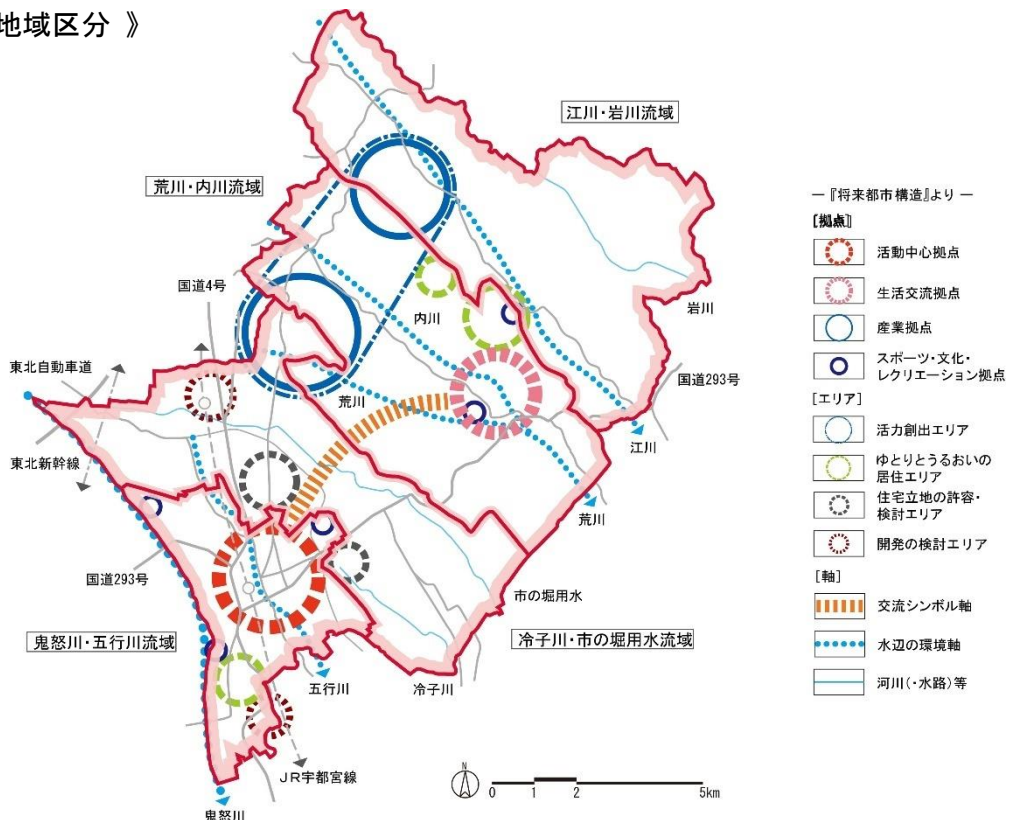
##### [計画情報の集計単位との調整]

- ：国勢調査区、都市計画基礎調査区、行政区（住民基本台帳調査区）等による区分

#### (3) 地域区分の結果

- ・河川流域等の地形的条件や土地利用のまとまり、都市計画に関連する法規制、市民に身近な生活単位である小学校区などを基本に、本市を4つの地域に区分し、各地域におけるまちづくり構想を整理します。

《 図：地域区分 》



# 1 鬼怒川・五行川流域

## (1) 地域の特徴と役割

《 図：鬼怒川・五行川流域の位置 》

### [特性]

- 旧氏家町の中心として古くから市街地が形成され、公共公益施設、JR宇都宮線・国道4号・国道293号等の東西南北の骨格的な交通軸、その沿線の商業地など、主要な機能が集積しています。
- 氏家市街地及び上阿久津台地地区における土地区画整理事業の施行区域を主体に低層住宅地の形成が進行しています。
- 用途地域無指定区域における国道4号及び国道293号の一部沿道において、大規模店舗が進出しています。
- 鬼怒川沿いの勝山公園・氏家ゆうゆうパークや鬼怒グリーンパークなど憩いの場として多くの市民が来訪しています。

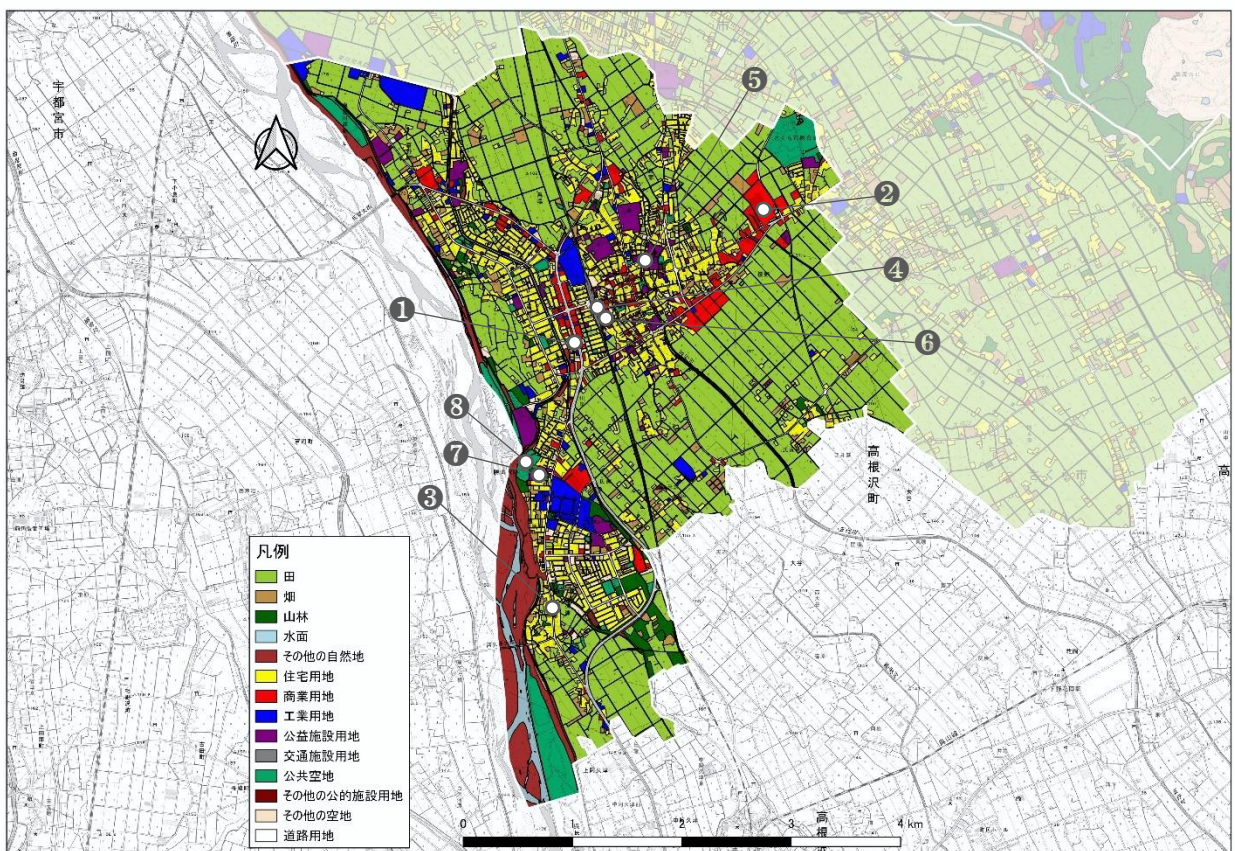


### [役割]

- 国道4号や国道293号、JR氏家駅を含む氏家市街地における「活動中心拠点」が、本市の都市活動の中心としての機能を担います。
- 氏家市街地、上阿久津台地の「市街地ゾーン」が、快適で暮らしやすい定住の場としての役割を担います。
- 氏家総合公園、勝山公園、氏家ゆうゆうパークなど「スポーツ・文化レクリエーション拠点」が、市民の交流の場としての役割を担います。

### [地域の土地利用現況]

参考：H28 都市計画基礎調査



注) ●数字は次ページ写真の対照番号

[地域のようす]



① 国道4号沿いの商業地



② 国道293号沿いの大規模商業施設



③ (一) 氏家宇都宮線沿いの集落地



④ さくらテラス・さくらスクエア



⑤ 氏家公民館・氏家体育館



⑥ e プラザ



⑦ さくら市ミュージアム



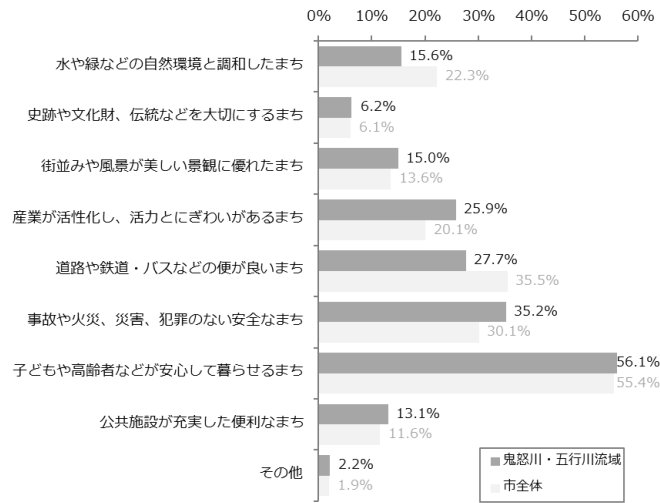
⑧ 勝山城跡

[地域市民の期待]

○10～20年後の

望ましいまちの姿

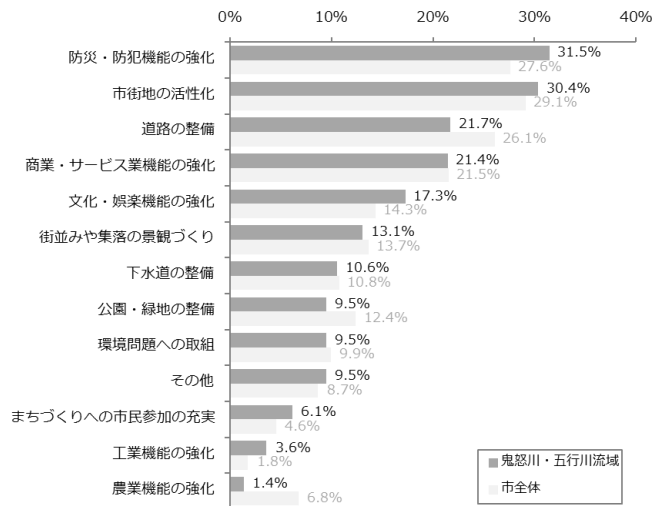
- 子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせる、災害や犯罪の心配のない地域づくりが望まれています。
- 市全体と比較すると“産業が活性化し、活力とにぎわいがあるまち”“事故や火災、災害、犯罪のない安全なまち”に対する意向が強くなっています。



○まちづくりにおいて

力を入れて欲しいこと

- “防災・防犯機能の強化”“市街地の活性化”“道路の整備”“商業・サービス業機能の強化”に関する取組が期待されています。
- 市全体と比較すると“防災・防犯機能の強化”“文化・娯楽機能の強化”に対する意向が強くなっています。



○地域の環境や

まちづくりに対する満足度

- “買い物の便利さ”“上水道などの給水施設の整備状況”“自然の豊かさ、美しさ”“通院の便利さ”に対する評価が高くなっています。
- “バスの利用のしやすさ”“まちの賑わいや活気”“交通事故に対する安全性”“道路の歩きやすさ（歩行者）”に対する評価が低くなっています。



## (2) 地域の基本方針

[地域のまちづくりの基本目標]

様々な機能が集積する 活力と賑わいのある 快適・便利な暮らしの環境づくり

[環境づくりの要点]

- さくら市の中心としてふさわしい多様な機能が集積する生活利便の高い環境づくり
- 新たな人口定着を受け止める快適な居住環境づくり
- 鬼怒川のほとりに楽しみ親しむうるおいの環境づくり



### ① 土地利用の方針

[住宅地]

- J R 氏家駅周辺及び市役所本庁舎周辺においては、良好な歩行空間の整備、公共公益サービスや医療サービスなどが利用しやすい環境づくり、公共交通を基本とした交通ネットワークの充実強化を進め、多様な機能が集積した都市核の形成に努めるとともに、地域の特性を踏まえ、中心市街地の再生に向けた面的整備等の実施を検討し、良好な街なか居住の促進を図ります。
- 土地区画整理事業実施区域である低層住宅地については、定住の場として良好な住宅環境の維持・向上に努めます。
- 一般住宅地においては、生活道路や公園等の基盤施設の整備、公共下水道の整備推進に努めます。
- 集落地においては、営農環境やコミュニティの維持を図るため、生活ニーズを踏まえながら、生活道路や公共交通の充実等による生活基盤の確保に努めます。

[工業地]

- J R 氏家駅北側及び上阿久津台地北側等に立地する大規模工業施設の周辺環境に配慮した良好な操業環境の維持・向上に努めます。

[商業地]

- 街なかの賑わいづくりに資する商業・業務機能の強化として、既存中心市街地商店街等の機能強化を基本に、商店街の再生（滞留拠点整備、街路整備）、老朽化した店舗・建物の更新、未利用地の有効活用等による商業地の再生に努めます。
- 氏家市街地の国道4号沿道においては、広域活動を活かした商業サービス施設等の集積誘導に努めます。
- 国道293号沿道においては、近隣居住者のニーズに応じた沿道サービス施設等の適正な立地を促進します。

[その他]

- 上阿久津台地以南の開発検討エリアについては、既存市街地への誘導を優先とし、社会経済状況動向や人口定着動向等を見据えた、新たな開発の将来的な実施を誘導する地区とします。
- 住環境改善地区である大野地区、上野地区については、既に宅地化が進行し、今後の宅地開発需要も高いと想定されることから、望ましい住環境のあり方を明確化しながら地区計画や用途地域の指定検討、土地開発指導要綱に基づく宅地開発の誘導・調整、生活道路や下水道等の生活基盤施設の整備に努めます。

○東原地区及び東大通り線沿道部における適正な土地利用促進に向けた用途地域の見直しを図ります。

## ②交通体系整備の方針

- 周辺都市・拠点との連絡を担う南北の幹線軸国道4号、東西の幹線軸国道293号を広域幹線道路と位置づけ、それらを補完する（一）上高根沢氏家線等の幹線道路や生活道路である市道の整備に努め、地域内の円滑な交通を支える道路ネットワークの形成を図ります。
- 国道4号及び国道293号における円滑な交通整理や朝夕の渋滞緩和を図るため、（都）東大通りの延伸路線となる（一）上高根沢氏家線の整備を促進します。
- JR氏家駅の利用利便を高めるため、（都）氏家喜連川線、（都）大通り線、（都）氏家停車場線の整備推進に努めます。
- 南北の幹線道路（主）大田原氏家線と（一）上高根沢氏家線を結ぶ（都）氏家高校南通り線の整備推進に努めます。
- 交通環境の変化を踏まえた（都）勝山通り線の見直し・検討を図ります。
- より多くの人々が利用できる公共交通の充実に努め、幹線的なバス交通の機能維持、乗合タクシー（デマンド交通）の効率的効果的な運行により都市核への移動環境の充実に努めます。

## ③その他都市施設整備の方針

- 広域防災拠点でもある氏家総合公園の機能強化、周囲の自然環境との調和や生態系に配慮した勝山公園・氏家ゆうゆうパーク及び鬼怒グリーンパークの整備と維持管理に努めます。また、より多くの人々が利用しやすい環境づくりとして、安全なアクセス環境の整備を図ります。
- 氏家公民館、氏家体育館、氏家図書館などのコミュニティ施設や氏家保健センター、氏家福祉センター等の福祉施設の適切な維持管理に努め、安全なアクセス環境の整備を図ります。

## ④自然環境の保全・活用の方針

- 用途地域無指定区域における田園環境については、農業の振興を図る優良な農地として保全に努めます。
- 鬼怒川における生態系に配慮した水辺環境の保全再生やビオトープの整備に努めます。
- 五行川における水辺環境の維持整備に努めます。

## ⑤都市防災の方針

- 氏家市街地における豪雨による被害を未然に防ぐ、雨水排水路等の整備に努めます。
- 市街地における防災性の向上を図るため、避難経路となる狭隘道路の拡幅整備や建築物の不燃化を促進します。
- 広域防災拠点である氏家総合公園や氏家公民館、氏家体育館、氏家図書館、氏家保健センターなど避難所の防災機能の強化と避難経路整備に努めます。

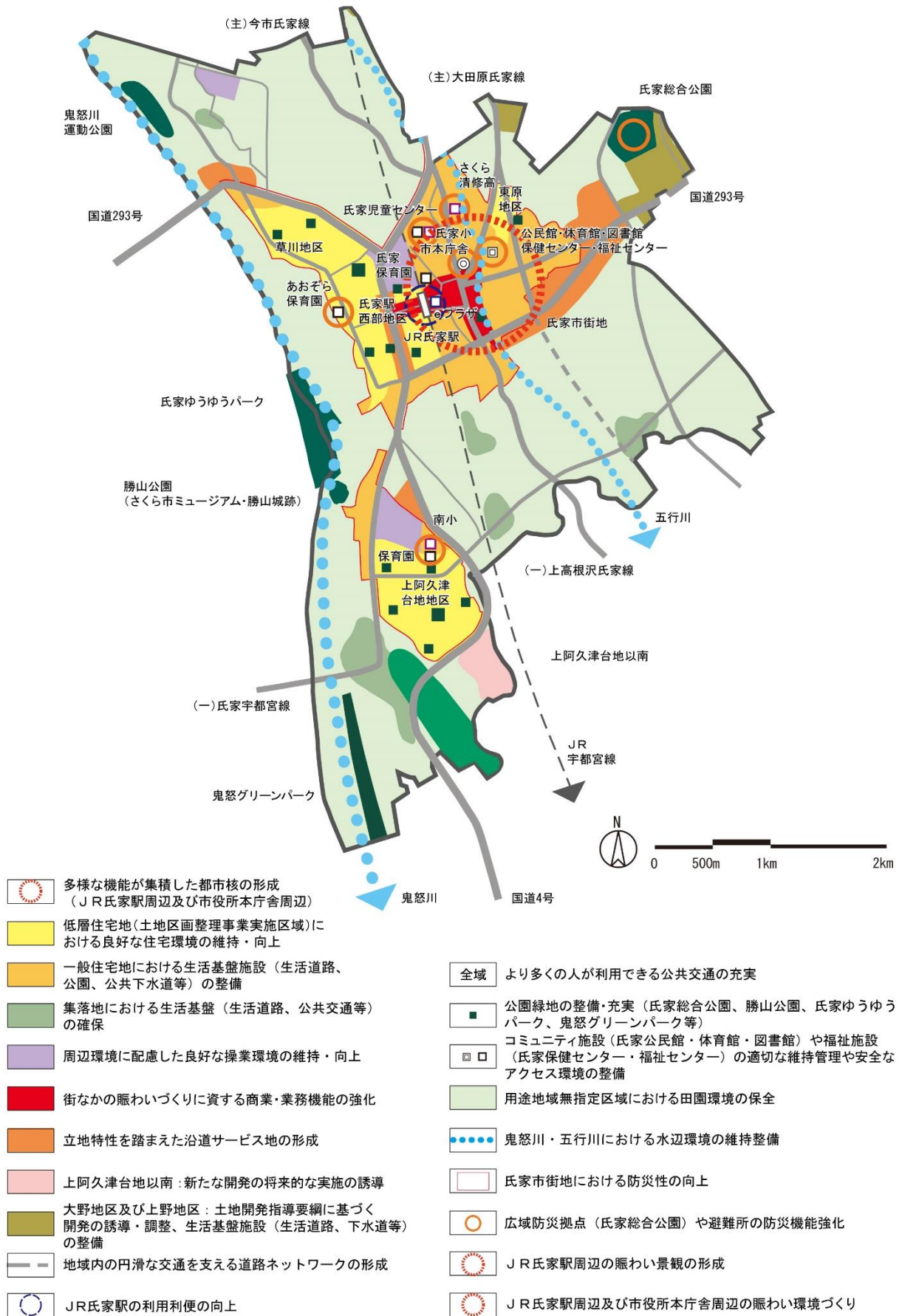
## ⑥景観・街並み形成の方針

- 鬼怒川の水辺や動植物、氏家ゆうゆうパークの水辺の保全育成に努めます。
- 鬼怒川桜づつみや勝山公園の桜、氏家総合公園、東大通り線や草川用水沿道など桜資源の保全育成に努めます。
- 市の玄関口にふさわしいJR氏家駅周辺の賑わい景観の形成に努めます。
- 住居系エリアにおいては、生けがきづくり奨励事業の活用により、緑化等に努めます。
- 櫻野の奥州街道沿道地区は、栃木県文化財に指定される瀧澤家住宅や沿道の板塀など氏家市街地の歴史的まちなみを象徴する地区でもあり、景観重点地区の指定に向けた取り組みを推進していきます。

**⑦交流環境形成の方針**

- J R氏家駅周辺及び市役所本庁舎周辺においては、都市核の形成に努め、都市機能の集積を活かしながら、商業・業務機能の充実や公共交通の利便を高め、来街者の誘導促進を図り、市民の様々な活動が展開される賑わいの環境づくりに努めます。
- 勝山公園や氏家ゆうゆうパーク、鬼怒川の桜づつみなど桜スポットの維持充実を図るとともに、氏家市街地などとの各拠点間連絡網の形成を図り、市民や観光客の交流促進に努めます。

《 図：鬼怒川・五行川流域のまちづくりの方針 》





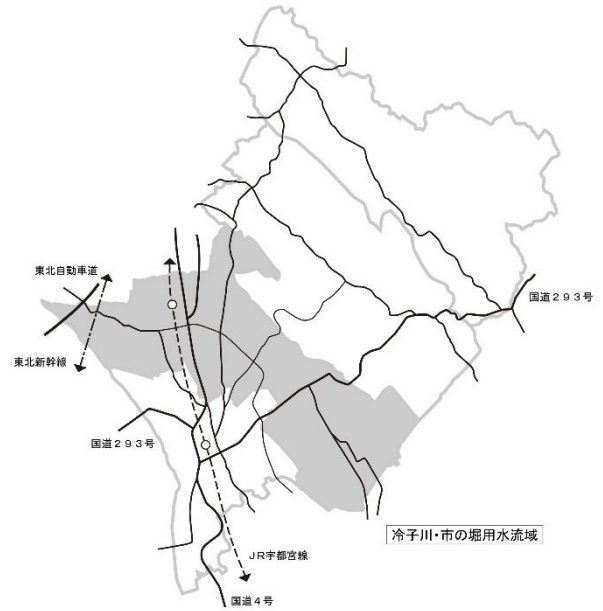
## 2 冷子川・市の堀用水流域

### (1) 地域の特性と役割

《 図：冷子川・市の堀用水流域の位置 》

#### [特性]

- 氏家市街地に隣接する大野地区・上野地区においては、用途地域無指定区域であるものの、既に宅地化が進行し、今後も宅地開発需要が高い地区と想定されます。
- 矢板市との隣接部には蒲須坂工業団地が立地しています。
- 国道4号等の南北軸、国道293号・さくらロード等の東西軸により骨格的な道路網が構成され、JR宇都宮線の蒲須坂駅が地域北部に立地しています。
- 地域のほぼ全域が農業振興地域に指定され、鬼怒川、五行川、荒川、冷子川、市の堀用水が流れる、豊かな田園環境と水辺環境が、市の魅力ある自然景観を形成しています。



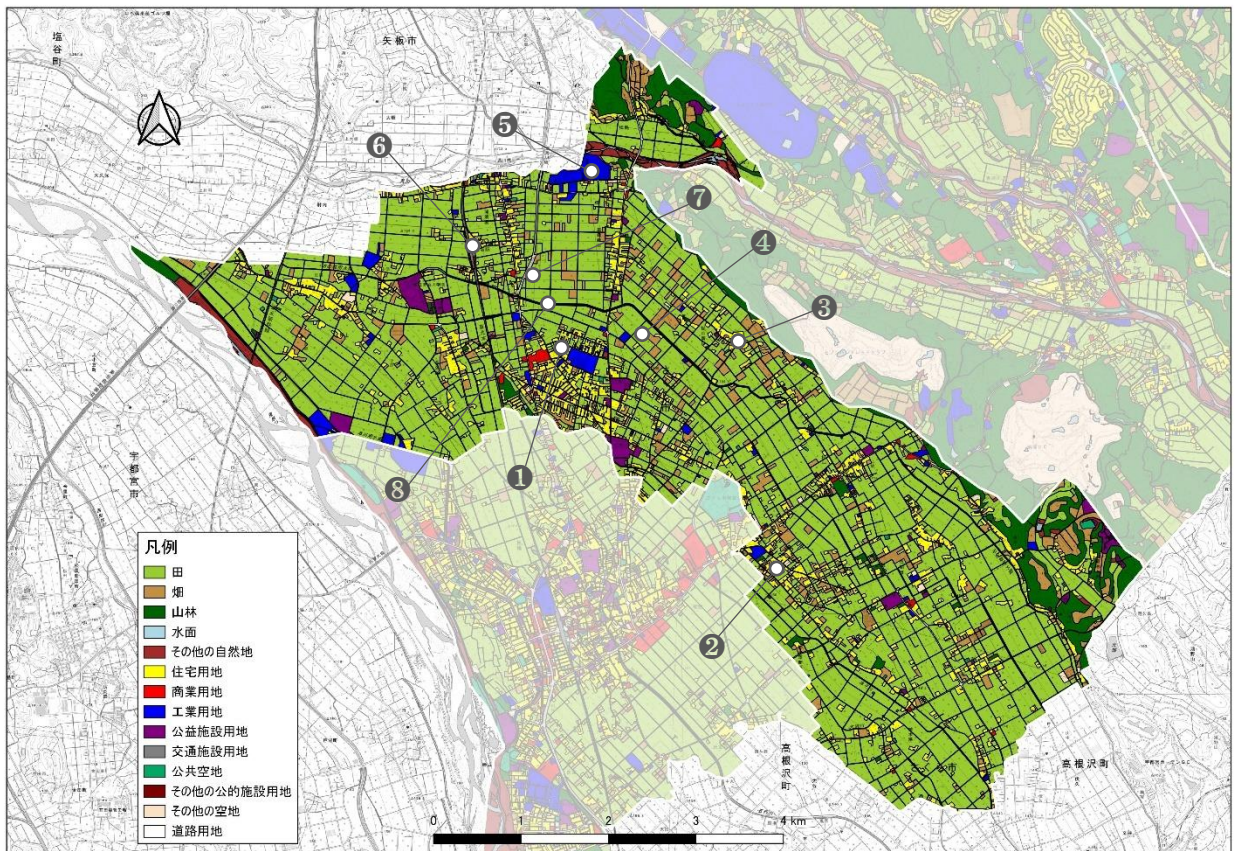
#### [役割]

- 大野地区や上野地区における「住宅立地の許容・検討エリア」が、良質な住宅地の形成や生活基盤施設等の整備・充実を図る、居住の場としての役割を担います。
- 蒲須坂工業団地周辺の「産業拠点」、「工業ゾーン」が就業の場として、市の産業の活力をさらに高める「活力創出エリア」となります。
- 地域全域における「田園共生ゾーン」が、優良な農地であり、四季折々の田園景観の広がりを感じる事が出来る自然景観の役割を担います。

#### [地域の土地利用現況]

注) ●数字は次ページ写真の対照番号

参考：H28 都市計画基礎調査



[地域のようす]



①住宅立地の進む大野地区



②住宅立地の進む上野地区



③緑豊かな集落地



④優良な農地



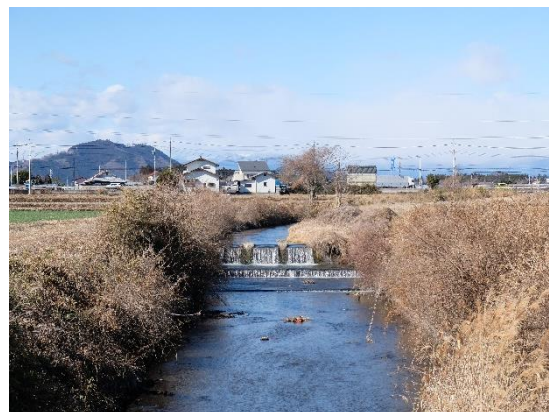
⑤蒲須坂工業団地



⑥JR蒲須坂駅



⑦菜っ葉館



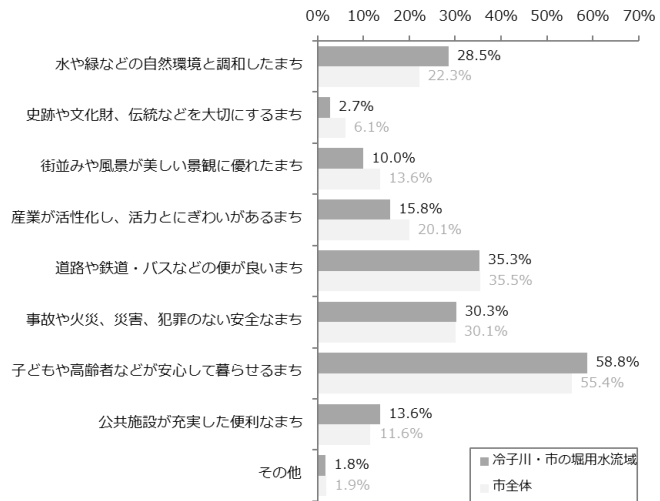
⑧市の堀用水路

[地域市民の期待]

○10～20年後の

望ましいまちの姿

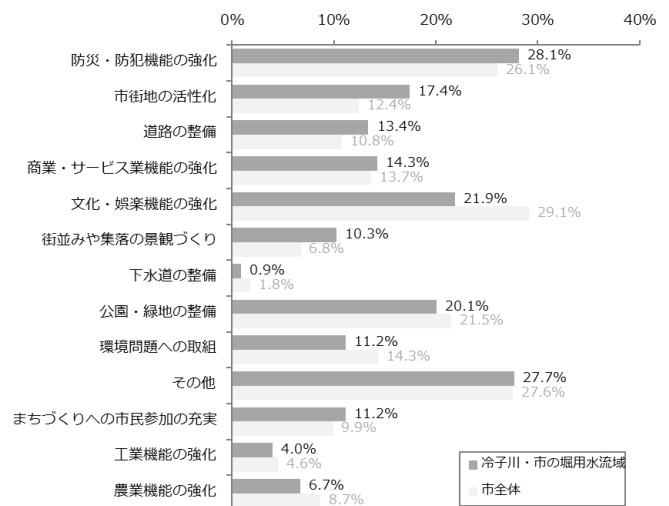
- ・子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせる、交通利便の高い地域づくりが望まれています。
- ・市全体と比較すると“水や緑などの自然環境と調和したまち”に対する意向が強くなっています。



○まちづくりにおいて

力を入れて欲しいこと

- ・“防災・防犯機能の強化”“文化・娯楽機能の強化”“公園・緑地の整備”に関する取組が期待されています。
- ・市全体と比較すると“市街地の活性化”“街並みや集落の景観づくり”に対する意向が強くなっています。



○地域の環境や

まちづくりに対する満足度

- ・“自然の豊かさ、美しさ”“緑や水辺の親しみやすさ”“街並みや田園風景の美しさ”に対する評価が高くなっています。
- ・“バスの利用のしやすさ”“まちの賑わいや活気”“道路の歩きやすさ（歩行者）”に対する評価が低くなっています。



## (2) 地域の基本方針

[地域のまちづくりの基本目標]

豊かな田園に囲まれる 安全・安心な心地よい暮らしの環境づくり

[環境づくりの要点]

- 広々とした快適な田園・集落の環境づくり
- 大野地区・上野地区における新たな宅地開発需要等を見据えた望ましい居住環境づくり
- 広域交流の強化やさくら市の一体化を促す環境づくり



### ①土地利用の方針

[住宅地]

- 集落地においては、営農環境やコミュニティの維持を図るため、生活ニーズを踏まえながら、浄化槽の設置や生活道路の整備、公共交通の充実等による生活基盤の確保に努めます。
- 用途地域無指定区域に位置する住宅地であり、今後も宅地開発需要が高いと想定される大野地区・上野地区においては、望ましい住環境の形成に向け、土地開発指導要綱に基づく適切な宅地開発の誘導・調整や生活道路・下水道等の生活基盤施設の整備に努めます。

[工業地]

- 矢板市との隣接部に位置する蒲須坂工業団地周辺においては、良好な工業生産活動を営む就業の場として、国道4号への円滑なアクセスの確保や周辺環境に配慮した操業環境の維持・充実に努めます。

[その他]

- 用途地域無指定区域に位置する国道4号及び国道293号沿道においては、農地の減少や中心市街地の衰退化等の問題を考慮し、無秩序な開発の抑制に努めます。
- JR蒲須坂駅以東の開発検討エリアにおいては、既存市街地への誘導を優先とし、社会経済動向や人口定着動向等を見据えた、新たな開発の将来的な実施を誘導する地区とします。

### ②交通体系整備の方針

- 地域内の円滑な交通を支える道路ネットワークの形成に向け、近隣市町を結ぶ広域幹線道路として国道4号、国道293号の適切な維持管理を図りつつ、市民の円滑な移動を支える(主)大田原氏家線の整備促進や広域農道グリーンラインの機能強化に努めます。
- JR蒲須坂駅の利用利便を高めるため、アクセス路や駐車場・駐輪場等の確保に努めます。
- 地域内にある氏家中学校や上松山小学校、押上小学校、熟田小学校周辺については、安全で歩きやすい歩行空間の確保に努め、通勤者等の交通量の増加に対応する(主)大田原氏家線については、歩道未整備区間の整備促進に努めます。
- 市街地間連絡道路であるさくらロードについては、氏家市街地と喜連川市街地間の交流・連携を促す路線として整備されたが、更なる機能の強化を図り、様々な都市活動を支える路線として国道4号への延伸整備を進めます。
- より多くの人々が容易に利用できる公共交通の充実に努め、幹線的なバス交通の機能維持(氏家・喜連川市街地方面)、乗合タクシー(デマンド交通)の効率的・効果的な運行により、地域内や都市核への移動環境の充実に努めます。

**③その他都市施設整備の方針**

- 住宅の集積する大野地区や上野地区等を中心に、整備の必要性や緊急性に応じた、生活に身近な公園緑地等の適切な配置に努めます。
- 押上・上松山・熟田小学校や氏家中学校における学校施設等の適切な維持・管理に努めるほか、女性アグリセンター・菜っ葉館・上松山児童センターなど、地域に密着したコミュニティ施設・福祉施設の利用環境の向上に努めます。

**④自然環境の保全・活用の方針**

- 地域全域における田園環境については、豊かな自然景観と農業の振興を図る優良な農地として保全に努めます。
- 鬼怒川における生態系に配慮した水辺環境の保全再生をはじめ、五行川、荒川、冷子川、市の堀用水における水辺環境の維持整備に努めます。

**⑤都市防災の方針**

- 住宅立地の進む大野地区・上野地区においては、円滑な消防救急活動を支える主要な生活道路の整備充実に努めます。また、土地開発指導要綱の適切な運用により、効果的な土地利用と避難場所となる公園緑地や避難路となる狭隘道路の拡幅整備などを図ります。
- 避難所に位置づけられる押上・上松山・熟田小学校や氏家中学校、たいよう保育園、女性アグリセンターなど避難施設の防災機能の強化に努めます。
- 防災性を有する自然環境として、雨水の一時的な浸透・貯留機能を果たす水田の保全を図ります。

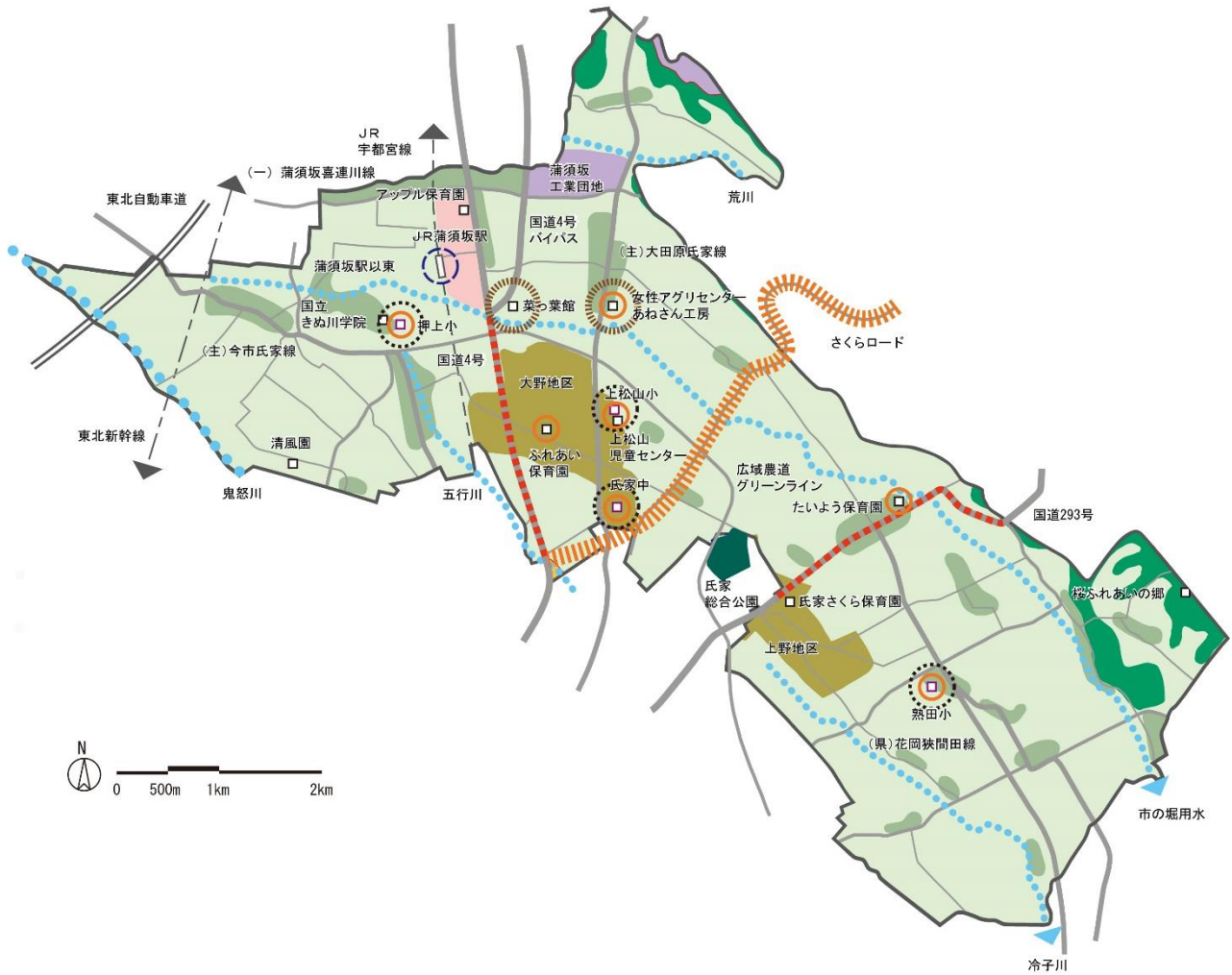
**⑥景観・街並み形成の方針**

- 農村集落地においては、広がりのある田園風景やその背景となる日光連山や高原山などの雄大な山並み、鬼怒川や五行川、市の堀用水などの水辺環境など、本市の里地里山となる自然景観を保全するよう努めます。
- 住宅立地の許容エリアである大野地区・上野地区においては、適正な宅地開発の誘導・調整を行い、生けがきづくり奨励事業の活用など、周辺の街並みや田園環境と調和した景観形成を図ります。
- 蒲須坂工業団地においては、田園景観や山並みなど周辺環境との調和に対する意識高揚を図りながら、工場敷地の外周や敷地内緑化、建築物の色合いなど地域に親しみや潤いを与える工業地景観の形成に努めます。
- J R 蒲須坂駅周辺においては、駅舎や周辺集落、駅までのアクセス路との調和のとれた親しみのある景観形成に努めます。

**⑦交流環境形成の方針**

- 国道4号沿道に立地するさくら市氏家地区農産物直売所やさくら市女性アグリセンター、休耕農地を活用した市民農園・観光農園等の整備など、地域固有の資源を活かした、広域の交流や市内の交流を促す地域活性化の拠点づくりに努めます。
- 市街地間連絡道路のさくらロードの国道4号への延伸整備やJ R 蒲須坂駅への利用利便を高めるアクセス路の整備により、広域交流や都市核への移動環境を高め、地域の様々な交流を支える交通網の形成に努めます。
- 市全体の桜の名所化に向け、桜スポットの1つである奈良・平安時代の古代東山道に咲くさくら市指定天然記念物である將軍桜への拠点間連絡網の形成を図ります。

《 図：冷子川・市の堀用水流域のまちづくりの方針 》



- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="display: inline-block; width: 20px; height: 10px; background-color: #c8e6c9; border: 1px solid #000; margin-right: 5px;"></span> 集落地における生活基盤（生活道路、公共交通等）の確保</li> <li><span style="display: inline-block; width: 20px; height: 10px; background-color: #e0e0e0; border: 1px solid #000; margin-right: 5px;"></span> 大野地区及び上野地区：土地開発指導致要綱に基づく開発の誘導・調整、生活基盤施設（生活道路、下水道等）の整備</li> <li><span style="display: inline-block; width: 20px; height: 10px; background-color: #e1bee7; border: 1px solid #000; margin-right: 5px;"></span> 蒲須坂工業団地周辺等における良好な操業環境の維持・充実</li> <li><span style="display: inline-block; width: 20px; height: 10px; border-top: 2px dashed #f44336; border-bottom: 2px dashed #f44336; margin-right: 5px;"></span> 国道4号及び国道293号沿道における無秩序な開発の抑制</li> <li><span style="display: inline-block; width: 20px; height: 10px; background-color: #ffe0b2; border: 1px solid #000; margin-right: 5px;"></span> JR蒲須坂駅以東：新たな開発の将来的な実施の誘導</li> <li><span style="display: inline-block; width: 20px; height: 10px; border: 1px solid #000; margin-right: 5px;"></span> 地域内の円滑な交通を支える道路ネットワークの形成</li> <li><span style="display: inline-block; width: 20px; height: 10px; border: 1px solid #000; border-radius: 50%; margin-right: 5px;"></span> JR蒲須坂駅の利用利便の向上</li> <li><span style="display: inline-block; width: 20px; height: 10px; border: 1px solid #000; border-radius: 50%; border-style: dashed; margin-right: 5px;"></span> 小・中学校周辺における安全で歩きやすい歩行空間の確保</li> <li><span style="display: inline-block; width: 20px; height: 10px; border: 1px solid #000; margin-right: 5px;"></span> 全域 より多くの人が利用できる公共交通の充実</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="display: inline-block; width: 20px; height: 10px; border: 1px solid #000; margin-right: 5px;"></span> 学校施設等の適切な維持・管理（押上・上松山・熟田小学校、氏家中学校）</li> <li><span style="display: inline-block; width: 20px; height: 10px; border: 1px solid #000; margin-right: 5px;"></span> 地域に密着したコミュニティ施設や福祉施設（女性アグリセンター、菜っ葉館、上松山児童センター等）の利用環境の向上</li> <li><span style="display: inline-block; width: 20px; height: 10px; background-color: #e8f5e9; border: 1px solid #000; margin-right: 5px;"></span> 田園環境・風景の保全</li> <li><span style="display: inline-block; width: 20px; height: 10px; border-top: 2px dotted #00bcd4; border-bottom: 2px dotted #00bcd4; margin-right: 5px;"></span> 鬼怒川・五行川・荒川・冷子川・市の堀用水における水辺環境の維持整備</li> <li><span style="display: inline-block; width: 20px; height: 10px; background-color: #e0e0e0; border: 1px solid #000; margin-right: 5px;"></span> 大野地区・上野地区における防災性の向上</li> <li><span style="display: inline-block; width: 20px; height: 10px; border: 2px solid #000; border-radius: 50%; margin-right: 5px;"></span> 避難所（押上・上松山・熟田小学校、氏家中学校）や避難施設の防災機能強化</li> <li><span style="display: inline-block; width: 20px; height: 10px; border: 1px solid #000; border-radius: 50%; border-style: dashed; margin-right: 5px;"></span> 広域や市内の交流を促す地域活性化の拠点づくり</li> <li><span style="display: inline-block; width: 20px; height: 10px; border-top: 2px dashed #f44336; border-bottom: 2px dashed #f44336; margin-right: 5px;"></span> 様々な交流を支える交通網の形成：さくらロードの延伸整備等</li> </ul> |
|---|--|

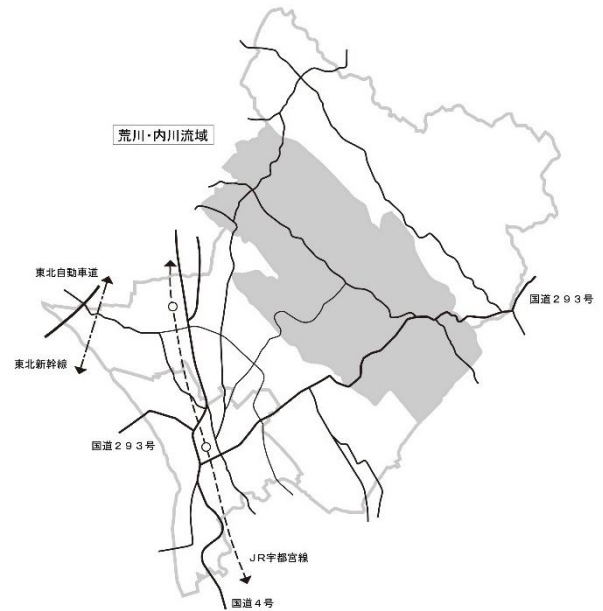
### 3 荒川・内川流域

#### (1) 地域の特性と役割

《 図：荒川・内川流域の位置 》

##### [特性]

- 旧喜連川町の中心となる古くからの市街地が形成され、公共公益施設、国道293号等の交通軸、(主)塩谷喜連川線沿いを中心とした商業地、お丸山公園や温泉施設をはじめとした観光資源など、多様な機能が集積しています。
- 田園や喜連川丘陵が入り組み、低地部には荒川や内川が流れるなど、水と緑にあふれる豊かな自然環境を形成しています。
- 一部丘陵地には、自然環境と調和した大規模な住宅地が整備されるほか、大規模企業の立地する工業基盤が整備されています。

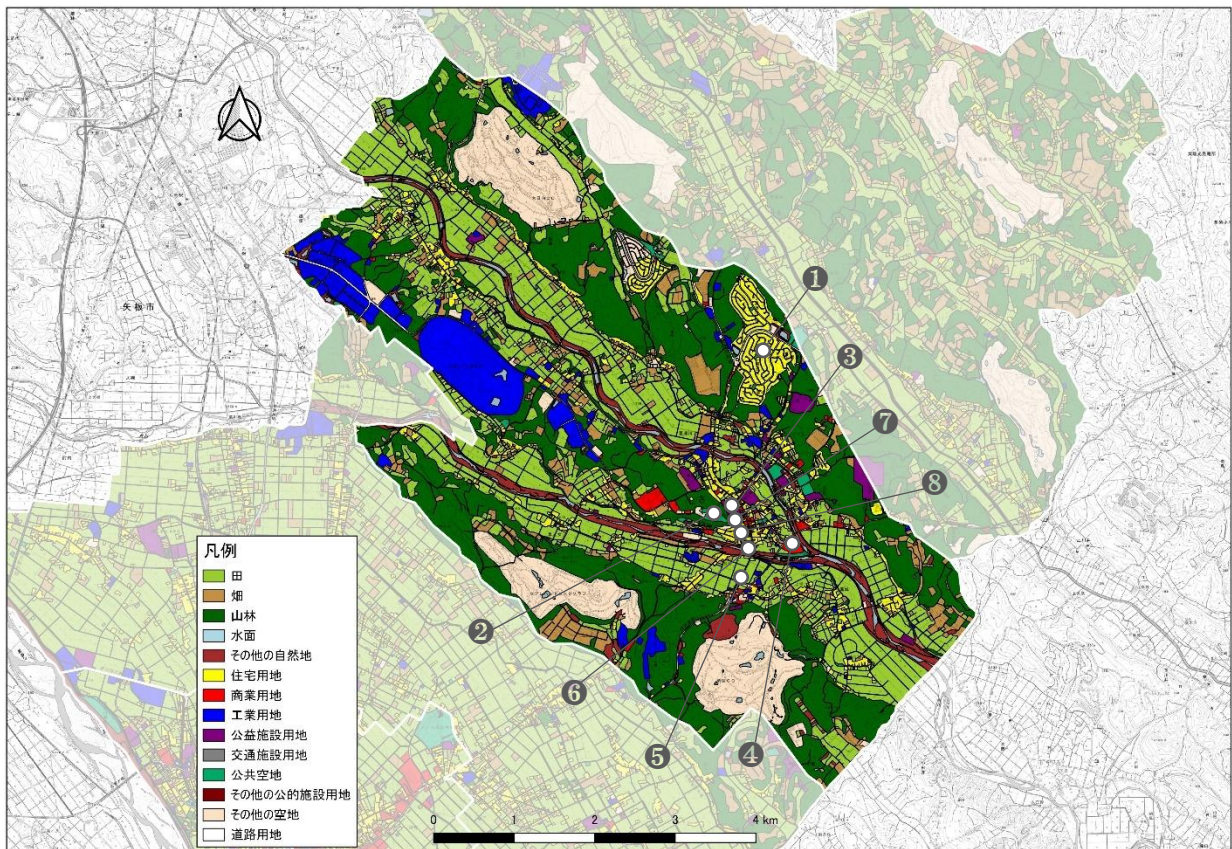


##### [役割]

- 喜連川市街地における「生活交流拠点」が、生活全般にわたる機能や、観光・歴史文化資源を活かした定住と交流の場としての機能を担います。
- 喜連川工業団地周辺や河戸地区周辺の「産業拠点」、「工業ゾーン」が、生産系・研究開発系産業機能が集積する市の産業の活力をさらに高める「活力創出エリア」となります。
- 菖蒲沢公園、お丸山公園など「スポーツ・文化レクリエーション拠点」が、市民や来訪者の交流の場としての役割を担います。

##### [地域の土地利用現況]

参考：H28 都市計画基礎調査



注) ●数字は次ページ写真の対照番号

[地域のようす]



① フィオーレ喜連川の住宅地



② お丸山公園



③ 公共公益施設の集積区域



④ 道の駅きつれがわ



⑤ 早乙女の桜並木



⑥ 荒川のながれ



⑦ 喜連川神社



⑧ 御用堀

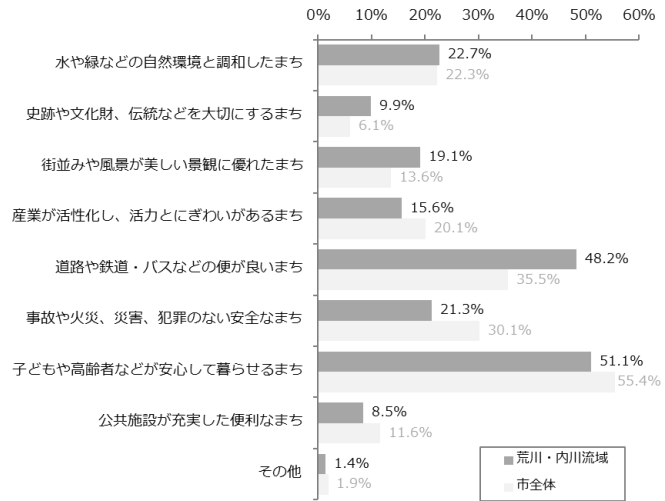


[地域市民の期待]

○10～20年後の

望ましいまちの姿

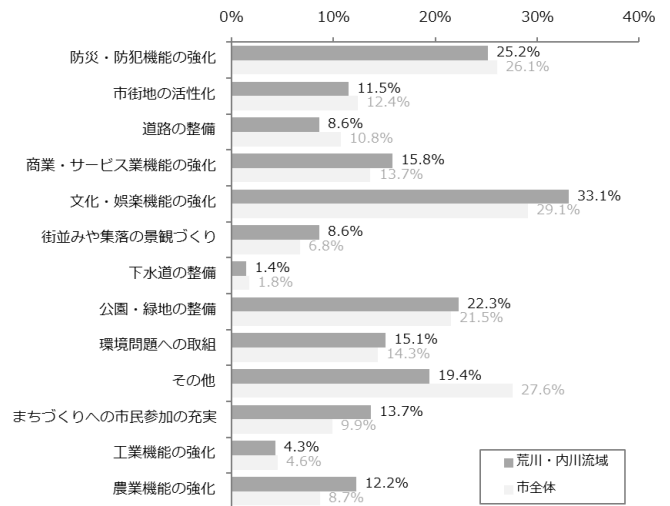
- 子どもから高齢者まで誰もが安全・安心に暮らせる、交通利便の高い地域づくりが望まれています。
- 市全体と比較すると“道路や鉄道・バスなどの便が良いまち”“街並みや風景が美しい景観に優れたまち”に対する意向が強くなっています。



○まちづくりにおいて

力を入れて欲しいこと

- “文化・娯楽機能の強化”“防災・防犯機能の強化”“公園・緑地の整備”に関する取組が期待されています。
- 市全体と比較すると“文化・娯楽機能の強化”“まちづくりへの市民参加の充実”“農業機能の強化”に対する意向が強くなっています。



○地域の環境や

まちづくりに対する満足度

- “自然の豊かさ、美しさ”“緑や水辺の親しみやすさ”“街並みや田園風景の美しさ”に対する評価が高くなっています。
- “バスの利用のしやすさ”“鉄道の利用のしやすさ”“通勤・通学の便利さ”に対する評価が低くなっています。



## (2) 地域の基本方針

[地域のまちづくりの基本目標]

自然・観光・歴史とゆとりある暮らしが調和する 魅力的な交流環境づくり

[環境づくりの要点]

- 自然（丘陵・田園・川）とまち（住居・商業・工業）が共生する環境づくり
- 日常的な生活ニーズへの対応や容易な移動性が確保されたゆとりのある居住環境づくり
- 桜や温泉、歴史など多様な観光資源の充実による多くの人が訪れる魅力的な環境づくり



### ①土地利用の方針

[住宅地]

- 喜連川支所や道の駅きつれがわ周辺地域においては、市街地と道の駅きつれがわの周遊機能を強化し、地域の特性に応じた賑わい環境や街並み景観のあり方を検討し、防災防犯上の安全な空間づくりと歩行者・自転車に配慮した空間づくりを図り、日常生活に関するサービス（商業・医療・公共交通等）を身近に受けることのできる生活利便性と、温泉や歴史文化資源を活かした観光機能が集積した観光交流核の形成に努めるとともに、地域の特性を踏まえ、定住の場づくりに向けた面的整備等の実施を検討し、良好な街なか居住の促進を図ります。
- 一般住宅地においては、生活道路や公園等の基盤施設の整備、公共下水道の整備推進に努めます。
- フィオーレ喜連川、桜ヶ丘の林間住宅地については、民間と連携した魅力ある住宅・宅地の供給に向け、地区計画のルールに即した建物形態等の適正な規制・誘導に努めます。
- 集落地においては、営農環境やコミュニティの維持を図るため、生活ニーズを踏まえながら、浄化槽の設置や生活道路の整備、公共交通の充実等による生活基盤の確保に努めます。

[工業地]

- 喜連川工業団地周辺については、広域幹線道路等との円滑なアクセス環境を有する良好な工業生産活動の場として、周辺環境に配慮した操業環境の維持・充実に努めます。
- 河戸地区周辺に位置する新規工業地については、周囲の緑や生活環境との調和に配慮した、良好な操業環境を有する工業用地の形成に努めます。

[商業地]

- 街なかの賑わいづくりに資する、地域の利便性と活発な交流を育む商業・観光機能の強化に向け、利用者と来訪者のニーズを踏まえた商業施設・観光型商業施設の拡充のほか、適正な駐車スペースや快適な歩行者空間の確保等に努めます。
- 道の駅きつれがわを含む国道293号沿道においては、近隣居住者や来訪者のニーズに応じた沿道サービス施設等の立地許容に努めます。

[その他]

- 喜連川工業団地周辺における工業系用途地域指定区域やお丸山公園周辺における住居系用途地域においては、用途の指定に応じたまちづくりにおける適切な土地利用の誘導を図ることとした上で、今後の社会経済情勢等の変化に応じて用途地域の指定見直しの検討を図ります。

**②交通体系整備の方針**

- 地域内の円滑な交通を支える道路ネットワークの形成に向け、近隣市町を結ぶ広域幹線道路として国道293号の適切な維持管理を図りつつ、喜連川工業団地等へのアクセス路となる、(主)塩谷喜連川線、(主)大田原氏家線等の整備拡充に努めます。
- 喜連川市街地の快適な観光交流を図るため、(主)塩谷喜連川線における安全な歩行空間整備促進に努めます。
- 喜連川市街地の通過交通を削減するため、迂回路となる市道等の整備に努めます。
- 喜連川工業団地周辺や河戸地区周辺の良好な操業環境が維持できるように広域幹線道路への円滑なアクセスを図れるよう、(一)下河戸片岡線や市道K3152号などの整備促進に努めます。
- 氏家・喜連川市街地間の連携やさくら市としての一体性強化を担う利便性の高い路線として、さくらロードの利用環境の充実や延伸整備の検討などに努めます。
- より多くの人々が利用できる公共交通の強化に努め、幹線的なバス交通の機能維持(氏家・喜連川市街地、宇都宮市・那珂川町方面)、乗合タクシー(デマンド交通)の効率的・効果的な運行により、喜連川市街地や都市核への移動環境の充実を図ります。

**③その他都市施設整備の方針**

- 貴重な誘客資源となるお丸山公園の再整備を進めるほか、周囲の自然環境との調和や生態系に配慮した菖蒲沢公園・荒川水辺公園等の適切な維持管理に努めます。
- 喜連川公民館、喜連川体育館、喜連川図書館などのコミュニティ施設や喜連川保健センター、喜連川社会福祉センター等の福祉施設の適切な維持管理に努め、安全なアクセス環境の整備を図ります。

**④自然環境の保全・活用の方針**

- 喜連川丘陵における良好な樹林地の適正な保全・育成に努めます。
- 用途地域無指定区域における田園環境については、農業の振興を図る優良な農地や樹林地等の緑環境の保全に努めます。
- 荒川、内川における水辺環境の維持整備を基本に、桜堤の保全や歩行者空間の整備を図るなど、魅力ある河川空間の形成に努めます。

**⑤都市防災の方針**

- 市街地における防災性の向上を図るため、避難経路となる狭隘道路の拡幅整備や避難場所となる公園の確保等に努めます。
- 県災害対策活動拠点でもある道の駅きつれがわ河川防災ステーションの機能維持を図るほか、避難所に指定される喜連川小学校、鷲宿体育館、喜連川中学校など避難施設の防災機能の強化に努めます。
- 防災性を有する自然環境として、雨水の一時的な浸透・貯留機能を果たす丘陵地の森林や水田の保全を図ります。

**⑥景観・街並み形成の方針**

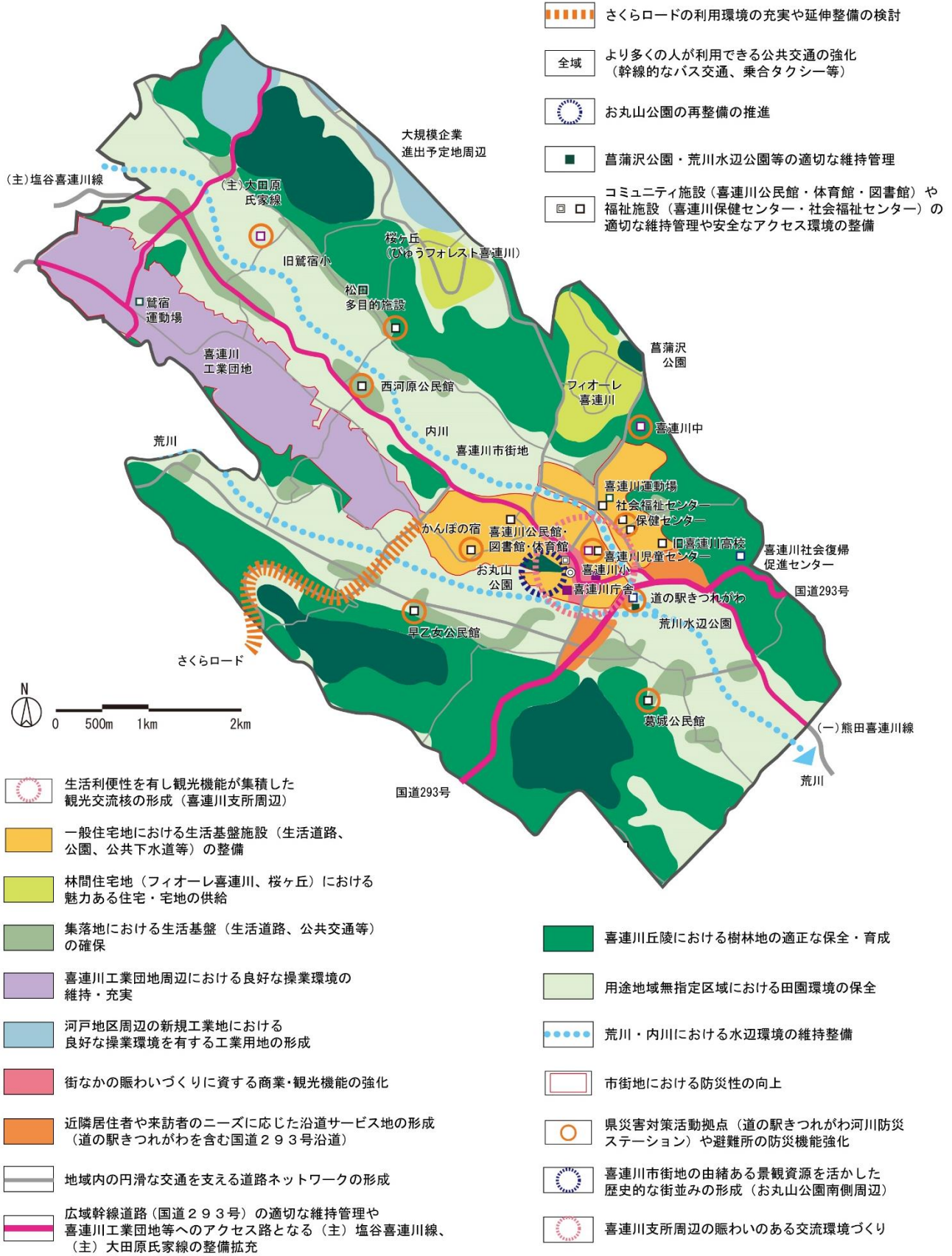
- 喜連川市街地における商業地については、古くからの趣の感じられる街並みの形成に向け、建物の意匠や色彩の誘導等に努めるほか、背景となる喜連川丘陵や広々とした田園などの自然景観の保全に努めます。
- お丸山公園南側周辺の地域については、喜連川市街地の由緒ある景観資源として、寒竹囲いや板塀、御用堀などの維持・保全に努めるとともに、景観重点地区の指定に向けた取組を推進し、風情のある歴史的な街並みの形成に努めます。

- 桜の郷づくりのシンボルともなる、早乙女の桜並木、荒川の桜堤、お丸山公園の桜スポットなどの桜資源の保全・育成に努めます。
- 住居系エリアにおいては、生けがきづくり奨励事業の活用により、緑化等に努めます。
- 喜連川工業団地など工場敷地の外周や敷地内の緑化を促し、市道K3152号の沿道緑化など周辺自然環境との調和のとれた景観形成に努めます。

## ⑦交流環境形成の方針

- 喜連川支所周辺においては、観光交流核の形成に努め、歴史文化的な資源や桜スポット、温泉施設などの観光資源の集積を活かしながら、商業・業務機能の充実や公共交通の利便を高め、市民や来街者の誘導促進を図り、市民や来街者による賑わいある交流環境づくりに努めます。
- 地域の貴重な誘客・交流資源となるお丸山公園、道の駅きつれがわ、和い話し（わいわい）広場、温泉施設等の魅力向上と機能充実を図り、早乙女の桜並木や喜連川足利家墓所や喜連川神社、御用堀など歴史名所との回遊性を確保する散策路と駐車場や歩行者空間の整備に努めます。
- 豊かな自然やレクリエーション・スポーツに親しみ、地域への誘客の資源ともなるゴルフ場や市民の交流の場となる喜連川運動場、菖蒲沢公園の保全整備に努めます。

《 図：荒川・内川流域のまちづくりの方針 》



## 4 江川・岩川流域

### (1) 地域の特性と役割

#### [特性]

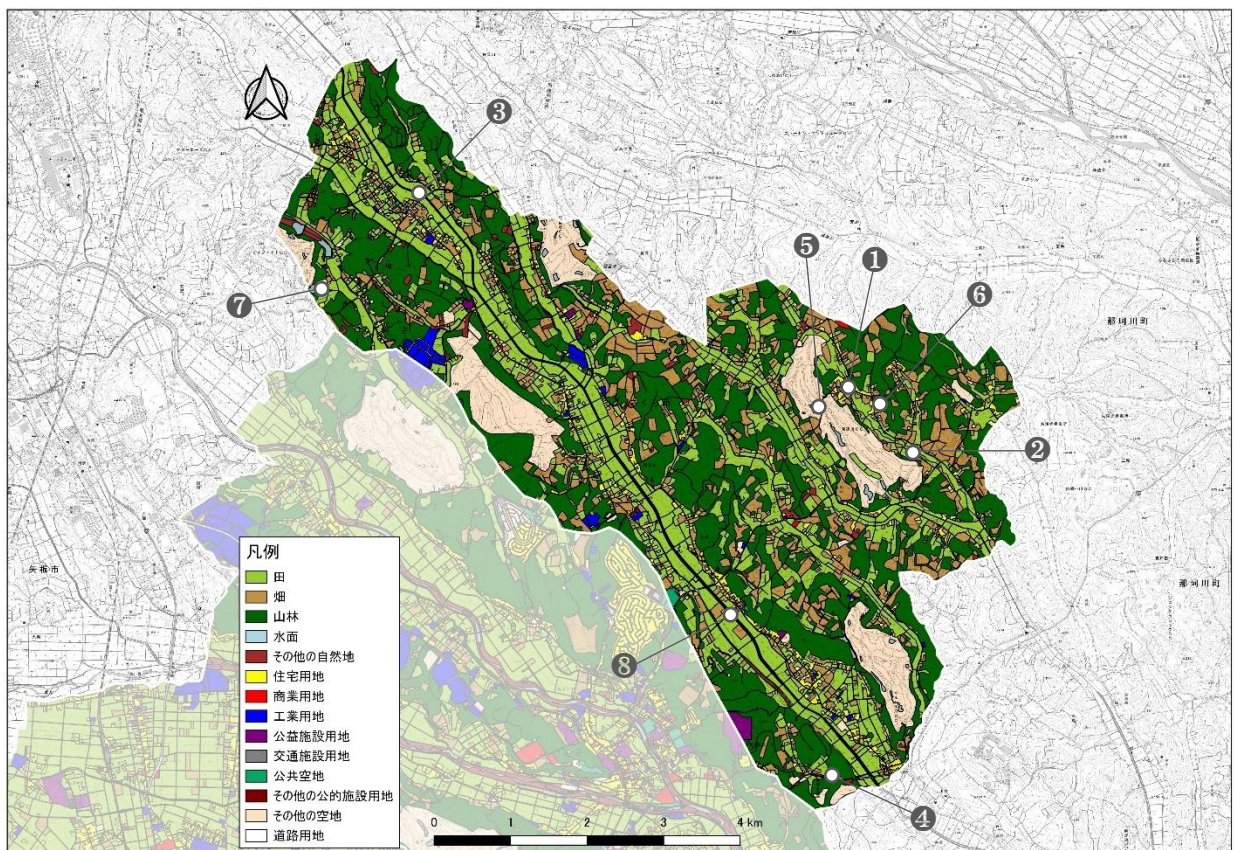
- 地域のほぼ全域が農業振興地域に指定され、自然資源や景観資源として魅力のある田園や喜連川丘陵の緑が入り組む、特徴のある地形を有しています。
- 地域北部の丘陵地において、大規模企業の立地と関連企業等の進出の受け皿となる工業基盤の整備が進んでいます。
- 国道293号、(主)大田原氏家線、(一)下河戸片岡線の東西軸、(主)那須烏山矢板線の南北軸により地域内の骨格的な道路網が構成されています。
- 水辺環境として江川、岩川、抜け土ため池、新ため池、向ため池等を有しています。

#### [役割]

- 河戸地区周辺における「産業拠点」、「工業ゾーン」が、生産系・研究開発系産業機能が集積する市の産業の活力をさらに高める「活力創出エリア」となります。
- 丘陵地やゴルフ場など「自然共生ゾーン」が、森林資源の保全や身近なレクリエーションを展開する場としての役割を担います。
- 地域の広い範囲における「田園共生ゾーン」「自然共生ゾーン」が、優良な農地、丘陵地と集落地とで市の里地里山として緑豊かな自然景観を形成する役割を担います。

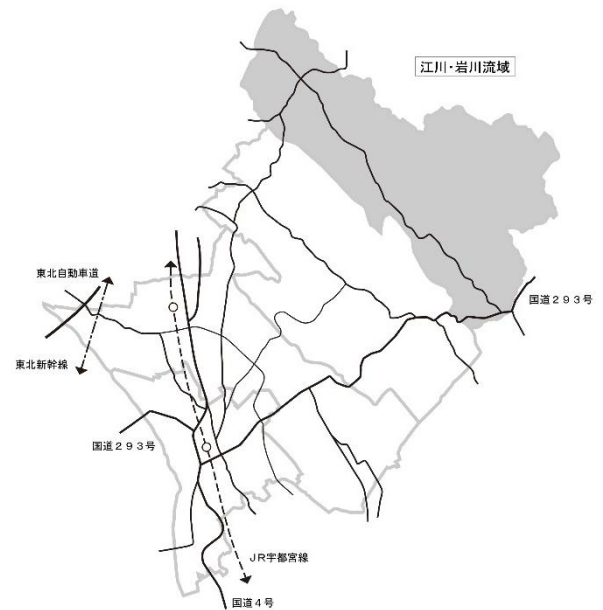
#### [地域の土地利用現況]

参考：H28 都市計画基礎調査



注) ●数字は次ページ写真の対照番号

《 図：江川・岩川流域の位置 》



[地域のようす]



① 緑豊かな集落



② 緑豊かな里地・里山の環境



③ (主) 大田原氏家線



④ 国道 293 号



⑤ 丘陵部のゴルフ場



⑥ 旧穂積小学校跡地の赤松と木工館



⑦ 向ため池



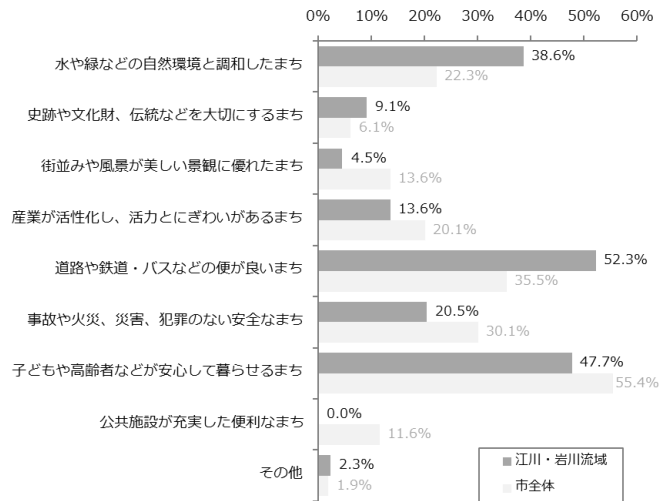
⑧ 江川

## [地域市民の期待]

### ○10～20年後の

#### 望ましいまちの姿

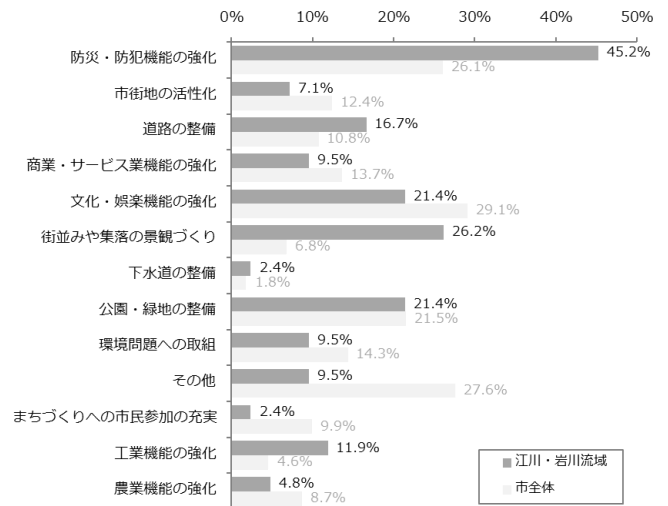
- ・交通利便の高い、子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせる地域づくりが望まれています。
- ・市全体と比較すると“道路や鉄道・バスなどの便が良いまち”“水や緑などの自然環境と調和したまち”に対する意向が強くなっています。



### ○まちづくりにおいて

#### 力を入れて欲しいこと

- ・“防災・防犯機能の強化”“街並みや集落の景観づくり”“文化・娯楽機能の強化”“公園・緑地の整備”に関する取組が期待されています。
- ・市全体と比較すると“街並みや集落の景観づくり”“防災・防犯機能の強化”“工業機能の強化”に対する意向が強くなっています。



### ○地域の環境や

#### まちづくりに対する満足度

- ・“生活公害の少なさ”“自然の豊かさ、美しさ”“上水道などの給水施設の整備状況”“街並みや田園風景の美しさ”に対する評価が高くなっています。
- ・“バスの利用のしやすさ”“鉄道の利用のしやすさ”“まちの賑わいや活気”“買い物の便利さ”に対する評価が低くなっています。





## (2) 地域の基本方針

[地域のまちづくりの基本目標]

恵まれた水・緑と新たな産業環境が融合する うるおいある里地・里山の環境づくり

[環境づくりの要点]

- 緑豊かな自然と共生する新たな産業の環境づくり
- 起伏に富んだ喜連川丘陵や田園を大切にする里地・里山の環境づくり
- 生活利便の確保や人々のふれあいを高める交流環境づくり



### ①土地利用の方針

[住宅地]

- 集落地においては、営農環境やコミュニティの維持を図るため、生活ニーズを踏まえながら、浄化槽の設置や生活道路の整備、公共交通の充実等による生活基盤の確保に努めます。

[工業地]

- 河戸地区周辺に位置する、大規模企業及び関連企業進出の受け皿となる新規工業地については、周囲の緑や生活環境との調和に配慮した、良好な操業環境を有する工業用地の形成に努めます。

### ②交通体系整備の方針

- 地域内の円滑な交通を支える道路ネットワークの形成に向け、近隣市町を結ぶ広域幹線道路である国道293号の整備促進を図りつつ、新規工業地へのアクセス路となる（主）那須烏山矢板線、（一）下河戸片岡線、（主）大田原氏家線等の整備拡充に努めます。
- 地域の児童が、安全な通学を確保するスクールバスの機能充実に努めます。
- より多くの人々が容易に利用できる公共交通の充実に努め、幹線的なバス交通の機能維持（氏家・喜連川市街地、那珂川町方面）、乗合タクシー（デマンド交通）の効率的・効果的な運行により、喜連川市街地や都市核への移動環境の充実を図ります。

### ③その他都市施設整備の方針

- 旧河戸小学校における学校施設跡地の適切な利活用の促進に努めます。
- 地域の人々が気軽に集い、交流することのできる場として、下河戸南多目的集会施設など、地域に密着したコミュニティ施設の利用環境の向上に努めます。

### ④自然環境の保全・活用の方針

- 起伏に富んだ喜連川丘陵周辺にあたる、昔ながらの魅力を有する里地・里山の環境については、動植物の生態系にも十分配慮しながら、緑環境の適正な保全・育成に努めます。
- 用途地域無指定区域における田園環境については、農業の振興を図る優良な農地や樹林地等の緑環境の保全に努めます。
- 地域内のため池・水路等における、ビオトープ（生息・生息場）としての水辺環境の保全再生をはじめ、江川、岩川における水辺環境の維持整備に努めます。

## ⑤都市防災の方針

- 避難所に指定される河戸・金鹿・穂積体育館や下河戸南多目的集会施設など避難施設の防災機能の強化に努めます。
- 防災性を有する自然環境として、雨水の一時的な浸透・貯留機能を果たす丘陵地の森林や水田の保全を図るほか、地域内に点在する防災重点ため池に関する情報提供や施設の補強対策等の検討に努めます。
- 台風や集中豪雨等による浸水被害等の発生を未然に防止するため、江川の河川改修の早期整備を促進します。

## ⑥景観・街並み形成の方針

- 起伏に富んだ里地・里山の特徴ある景観として、喜連川丘陵の山並みや緑をはじめ、丘陵地に入り組んだ農地等の保全に努めます。
- 四季折々の田園風景を形成する、広々とした農地やゆとりある集落地の保全・育成に努めます。
- 主要な河川である江川、岩川におけるゆとりと潤いのある河川景観づくりや、ため池における水辺の保全に努めます。
- 新規工業地においては、工場敷地内や外周部の緑化等により、周囲の自然環境と調和のとれた景観形成に努めます。

## ⑦交流環境形成の方針

- 休耕農地を活用した市民農園・観光農園の整備など、地域固有の資源を活かした、都市と農村の交流の場づくりに努めます。
- 地域の伝統を支える身近な寺院・神社等については、より多くの交流や来訪を促す貴重な地域資源として、保全・活用策の検討に努めます。
- 豊かな自然やレクリエーション・スポーツに親しみ、地域への誘客の資源ともなるゴルフ場及びその周辺環境の保全に努めます。

《 図：江川・岩川流域のまちづくりの方針 》

